

関西支部シニア会第12期（2017年度）活動計画

1. 運営基本方針（シニア会活動の理念）

- (1) 会員相互の親睦と情報交流を促進する。
 - (2) シニアの経験・技術・知恵を活用し、教育機関、学生、企業、技術者を支援する。
 - (3) 関西支部の活動に協力し、その発展に寄与する。
- これらの活動を通じて、会員のシニアライフの充実と社会への貢献を目指す。

2. 2017年度(H29)運営方針

- (1) シニアによる社会貢献の一環として、大学・高専への講師の派遣、企業に対する技術・経営支援、小学生のための理科工作教室開催、学生との交流を実施する。
- (2) シニアの相互交流と社会見聞を深めるため、特徴ある技術を有する中堅企業見学、情報交流サロン、研修キャラバン、機械・産業遺産ツアーを開催する。
- (3) シニアの技術を伝承するため、シニア会諸行事の講演資料をWebで閲覧可能にする。
- (4) 会員の増強を図る。

3. 2017年度(H29)活動計画

3.1 シニア会総会・運営委員会

- ①シニア会総会；年度の活動結果ならびに次年度の計画について報告し決定する。
付帯行事として講演会、懇親会を開催する。
 - 1) 2018年(H30) 3月5日(月)に第12期総会を開催する。
 - 2) 第11期総会の決定に基づき、第12期の活動を開始する。
- ②運営委員会；
 - 1) 2ヶ月に1回を目途に運営委員会を開催する。

3.2 支援活動

- ③関西支部、学生会、教育機関に対する支援
 - 1) 関西学生会卒研発表講演会のコメンテータとしてシニアの派遣依頼に協力する。
 - 2) 支部の要請に応じて講習会や講演会への講師の派遣に努める。
 - 3) 大学・高専の非常勤講師、特別講義・特別講演の講師、学生のグループ研究活動支援者等の派遣を推進する。
 - 4) 学生会との交流を兼ね、シニアによる講演（シニアの経験を伝える講演など）やグループでのフリートークを開催する。
- ④企業に対する技術・経営支援
 - 1) 企業技術者に対する教育について、社内教育を主体に各分野での実施を検討し、計画・実施する。
 - 2) シニア人材による関西のものづくり企業への支援活動を継続する。
 - 3) 関西支部ホームページ(HP)を窓口として、企業教育を含め企業からの要請に対応する。
 - 4) 企業を支援する希望者の人材を登録し、データベースとして活用する。

⑤理科工作教室の実施

理科やものづくりに興味を持つ小学生を支援し、理科好き児童の育成に貢献するため、親と子の理科工作教室と理科特別授業を継続実施する。

- ・回数：4月～2月に35テーマ（22教室）程度、新規テーマも積極的に取り入れる。
- ・規模：1教室につき1～8テーマ/1日間、児童数 10～12人/テーマ
- ・ジュニア会友制度について保護者に紹介し、ジュニア会友増員に貢献する。

内容は、学校のカリキュラムを補い、児童の理科への興味を維持・強化できる内容とする。

また、地方自治体から理科特別授業の要請がある場合は、講師を派遣し理科教育の充実に貢献する。

3.3 会員交流活動

- 1) 特徴ある技術を有する中堅企業見学会
 - ・年2～3回開催し、シニア会員との交流、懇親を深める。

- 2) 情報交流サロン
 - ・年3回程度開催し、シニア会員の有する技術を提供し相互の懇親を深める。
 - ・会員から順次話題提供をお願いする。
- 3) 機械・産業遺産ツアー
 - ・近畿の機械や産業遺産を対象に、年3回程度開催する。
 - ・シニア会に相応しい見学先を選ぶため近畿産業考古学会とも連携する。
- 4) 研修キャラバン
 - ・会員相互の親睦と企業見学など社会見聞を深めるため、年1回開催する。
- 5) その他
 - ・シニア会員の相互交流をより活発にするため、eメールおよび支部のHPを活用し、会員への諸行事案内や諸活動の紹介などの情報提供に努める。

3.4 技術伝承

シニア会諸行事の講演資料などを精査・選択し、Webの閲覧資料を蓄積する。

3.5 会員増強活動

- 1) 入会資格のある学会員（55歳以上）および定年退職される学会員に、シニア会の活動および特典などを紹介し、入会を促す。
- 2) シニア会を説明するWebや資料を充実させ、PRを効果的に行う。
- 3) シニア会行事予定や実施結果をWebにアップロードし、タイミングよく広告する。

以上